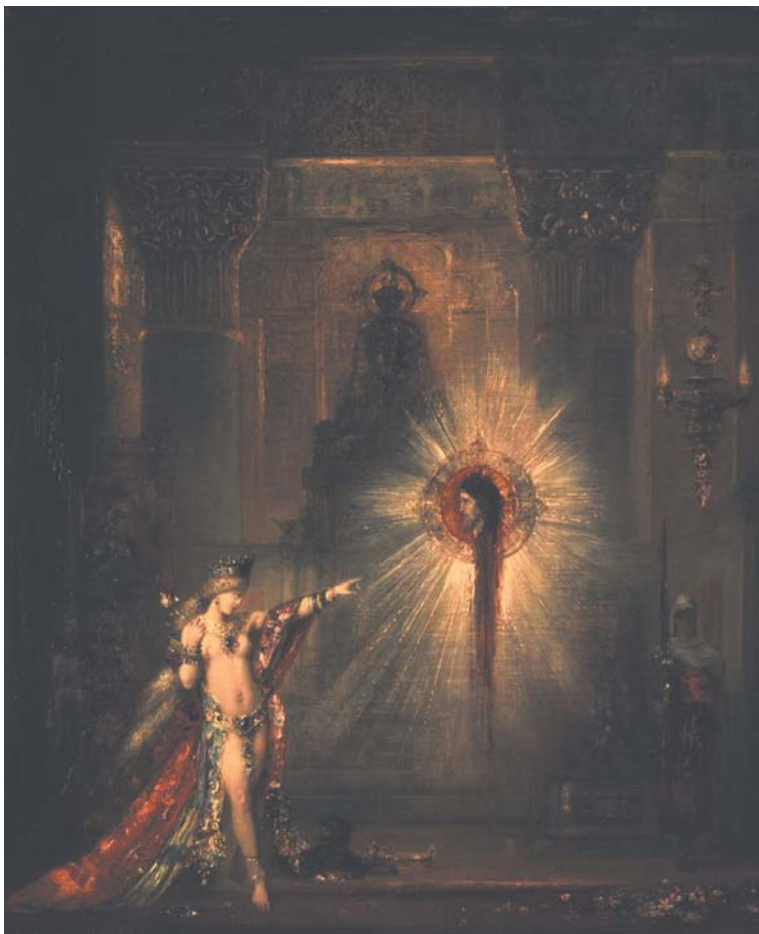


ZEPHYROS

ゼフュロス No.12

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071



ギュスターヴ・モロー《出現》1876年頃
© President and Fellows of Harvard College (Harvard University Art Museums)

ウインスロップ・コレクション

フォッグ美術館所蔵19世紀イギリス・フランス絵画

会期： 2002年9月14日(土)～12月8日(日)

主催： 国立西洋美術館、東京新聞、ハーヴァード大学付属フォッグ美術館

アメリカでは大学に付属する美術館が独自のコレクションを形成し、学内だけでなく、より広く社会に貢献する例が少なくありません。そのなかでもハーヴァード大学に付属するフォッグ美術館は、1895年の開館以来、すぐれた西欧美術の収集に力を注ぎ、世界でも有数のコレクションを誇っています。このフォッグ美術館のコレクションにおいてとくに重要な一群をなすのが、グレンヴィル・L. ウインスロップが寄贈したコレクションです。ハーヴァード大学を卒業後、法律家から銀行業に転じたウインスロップは、その後半生、すぐれた審美眼により西欧美術や中国の工芸品の収集に努めま

ウインスロップ・コレクション

the national museum of western art, tokyo

した。1943年の彼の死に際し3,700点にもおよぶそのコレクションはフォッグ美術館に寄贈されましたが、故人の遺志によりこれまでの59年間、それらは美術館の門外に出ることはありませんでした。今回建物の修復を機に、その主要部分が日本を皮切りにロンドン、ニューヨーク、ワシントンなどを巡回することになったのはきわめて貴重な機会といえるでしょう。

西洋美術館ではウインスロップが収集した19世紀の絵画からイギリス、フランスの18作家86点を選び、4つのセクションに分けて展覧会を構成します。

「過去と東方」では、古典・古代やオリエントを対象として19世紀西欧の文化が自己とは別の他の世界と向き合う瞬間をとりあげ、ワッツの《サー・ガラハッド》やアングルの《奴隷のいるオダリスク》などを紹介しています。「神秘と顕現」では、多様に展開した19世紀の聖性、神秘性に焦点をあてています。

ここにはサロメをモチーフとするモローの《出現》や、旧約聖書に由来するバーン=ジョーンズの《天地創造の日々》などが含まれています。「誘惑と墮落」としては、西欧美術のなかに古くから繰り返し表れる、男性を誘惑しときには破滅へと導く官能的な女性の19世紀的なイメージを求めました。ここではバーン=ジョーンズの《深海》に見られる謎めいた女性の表情が深く印象に残ります。「象徴と偶像」では、人物や風景を描きながらも、そこに抽象的な意味や概念を付与するものとして、モローの《若者と死》や、ホイッスラーの《青と銀のノクターン》が並べられます。

これら複数の作家による多様な表現を通じて、西欧近代の欲望や夢、恐れを反映した「想像の系譜」を感じとっていただけること

でしょう。

(主任研究官 大屋美那)



エドワード・コリー・バーン=ジョーンズ
《天地創造の日々：第5日》
1870-76年



◆ 「ウインスロップ・コレクション」展 観覧料

一般……………1,300円 (950円)
高校・大学生…900円 (510円)
小・中学生 無料
※()内は20名以上の団体割引料金

ジャン=オーギュスト=ドミニク・アングル

《奴隷のいるオダリスク》
1839-40年

クリシェ・ヴェール

会期： 2002年9月14日（土）～12月8日（日）

the national museum of western art, tokyo

当館は毎年春と秋の2回、所蔵している版画の中からテーマを決めて数十点を選び展示しています。今秋は、“クリシェ・ヴェール”と呼ばれる技法で刷られた作品の数々を紹介します。この技法は19世紀のフランスで、写真術の発達に伴って生まれました。基本的には、皮膜で覆ったガラスをニードルなどで引っかけて絵を描き、線の部分のみが光を通すようにして、下に敷いた印画紙を感光させるものです。ただし、技法を応用して独特な表現も生みだされました。いずれにせよ、版画でありながらインクを使わない点に特徴があり、その線は柔らかく、微妙な明暗の諧調を伝えます。

風景画の巨匠コローや、ミレー、ドービニーといったバルビゾン派の画家たちがこの技法を使って多くの作品を制作しました。とりわけコローは、大気の微妙な揺らぎを伝えることのできるこの技法を気に入っていたようで、66点もの作品を制作しています。これら印象派の先駆けとなった画家たちは、降りそそぐ柔らかな光をカンヴァスに定着させることに腐心していました。クリシェ・ヴェールは彼らの要求に適った技法だったのです。

今回は、当館が所蔵するクリシェ・ヴェール36点すべてを展示します。さらに、コローによるエッチングも併せて展示します。まとまった数のクリシェ・ヴェールの展示は、世界的にも非常に稀と言えるでしょう。この機会に是非、珍しい技法で制作された優品の数々をご鑑賞ください。

（研究員 渡邊晋輔）



ジャン=バティスト=カミーユ・コロー
《森の入口に立つ若い母親》

テオドール・ルソー
《ブランタ=ピアンの桜の木》

◆常設展観覧料

- 一般……………420円（210円）
- 高校・大学生……………130円（70円）
- 小・中学生 無料
- ※（ ）内は20名以上の団体割引料金



木版画とトランプ

the national museum of western art, tokyo

版画にはいくつかの技法がありますが、そのなかで木版画は、だれもが一度は実際に制作を経験したことがある技法でしょう。図柄を描いた木の板から余分な部分を削り取っていく木版画は、原理が単純で分かりやすいですし、その制作方法は版画の素人にもとっつきやすいものです。

版画史を見ても、木版画は最初に行わ

れた版画技法でした。その起源は9世紀頃まで遡ることができます。はじめは東洋で行われていましたが、製紙法の伝播とともに西方へと広まり、14世紀頃から西洋でも行われるようになったようです。初期の木版画の多くは護符やトランプの類で、消費財として使用されたために、現存するものはほとんどありません。国立西洋美術館が所蔵する《幼児キリストの神殿奉獻》は現存する貴重な作品ですが、この作品もまた、当初は護符として刷られたものだろうと考えられています。

初期木版画はマイナーなジャンルなので、画集に掲載されることもありません。それでもこの作品は、私たちに親近感を抱かせます。なぜでしょうか？

実は誰もが子供の頃から、初期木版画に起源を持つデザインを見ているのです。それは、トランプの絵札です。絵柄を思い出してみてください。あの太く角張った輪郭線、平面的な構図、濃淡のない色彩、これらすべてが、かつて木版画で制作していたことの名残なのです。

14世紀後半以降、紙と版画が普及すると、それにとまってカード遊びが庶民に浸透し、大変な人気を得ました。実際15世紀の版画家には、“トランプの親方”と呼ばれる人物がいるほどです。この時期に生み出された絵札のデザインが、どういう訳かそれほど変化することなく現代まで生き残り、私たちもまた、数百年前と似通ったデザインのカードを手にする事となったのです。裏返せば、初期木版画の魅力がそれだけ普遍性を持っているということでしょう。

(研究員 渡邊晋輔)



作者不詳
《幼児キリストの神殿奉獻》
1450-60年頃

※ この作品は展示されておりません。

「ウインスロップ・コレクション」展に関連して下記のプログラムを実施しますので、ぜひご参加ください。

◆記念講演会

- 9月14日（土）13:00～16:00（8月31日応募締切）
「ウインスロップ・コレクションと教育機関としてのフォッグ美術館」
 ジェームズ・クノー（フォッグ美術館館長）
「グレンヴィル・ウインスロップ：蒐集家とそのコレクション」
 ステファン・ウォロフォジアン（フォッグ美術館絵画部学芸員）
「ウインスロップとイギリス美術」
 ミリアム・スチュワート（フォッグ美術館素描部学芸員）
- 10月19日（土）14:00～15:30（10月5日応募締切）
「ロセッティ絵画の身振りと言葉」
 山口恵里子（筑波大学講師）
- 11月2日（土）14:00～15:30（10月19日応募締切）
「侵出するヴィジョン」
 喜多崎親（一橋大学大学院助教授）
 場所：講堂
 定員：145名（聴講無料。展覧会の鑑賞については別途観覧券が必要です。）

応募方法：往復はがきに聴講希望日、氏名（1名限り）、住所（返信にも）、電話番号をご記入のうえ、下記の宛先にお申し込みください。（締切日の消印有効）応募者多数の場合は抽選になります。

宛先：〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7 国立西洋美術館
 「ウインスロップ・コレクション」展 講演会係

◆ギャラリートーク

展覧会のみどころや主な作品について、夜間開館を行っている下記の金曜日にギャラリーで解説を行います。

- 日時：9月27日（金）、10月11日（金）、10月25日（金）、11月8日（金）、11月22日（金）
 毎回18:00～（約40分）
 当日17:30よりインフォメーションで整理券を配ります。
 集合場所：企画展会場入口ロビー
 定員：先着20名（展覧会観覧券が必要です）

●先生のための観賞プログラム

小・中・高等学校の先生方を対象とした特別展の観賞プログラムです。展覧会の趣旨や作品について40分ほど説明した後、自由に展覧会をご覧ください。プログラムは2回とも内容は同じです。

- 9月20日（金）17:30～（17:00受付開始）（9月6日締切）
 - 9月21日（土）14:00～（13:30受付開始）（9月7日締切）
- 場所：講堂
 定員：145名

応募方法：往復はがきに、住所（返信にも）、氏名（1名限り）、電話番号、所属学校名、担当教科、参加希望日をご記入の上、下記の宛先にご応募ください（締切日の消印有効）。応募者多数の場合は抽選になります。

宛先：〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7

国立西洋美術館「先生のための観賞プログラム」係

展示カレンダー [企画展示] 2002年8月～2003年1月

常設展示 (本館・新館)

ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画を本館で展示しています。また新館では、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画を中心に19世紀半ばから20世紀の絵画を展示しています。

休館日

8

AUGUST

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

大英博物館所蔵フランス素描展
(企画展示室) 7月9日(火)～9月1日(日)

手と心ーモネ、ドニ、ロダン
(本館1Fおよび新館) 6月18日(火)～9月1日(日)



9

SEPTEMBER

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

● 最終日9月1日(日)

● 臨時休館
(館内整備)
9月9日(月)

● ウィンスロップ・コレクション
(企画展示室) 9月14日(土)～12月8日(日)

● 最終日9月1日(日)

● 9月13日(金)

● クリシェ・ヴェール
(新館2F版画素描室) 9月14日(土)～12月8日(日)

10

OCTOBER

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

ウィンスロップ・コレクション



クリシェ・ヴェール

11

NOVEMBER

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

ウィンスロップ・コレクション
(企画展示室) 9月14日(土)～12月8日(日)

クリシェ・ヴェール
(新館2F版画素描室) 9月14日(土)～12月8日(日)



12

DECEMBER

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

● 最終日12月8日(日)

● 最終日12月8日(日)

年末年始
休館
12月28日(土)
1月4日(土)

1
2003

JANUARY

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

年末年始
休館
12月28日(土)
1月4日(土)

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…9:30～17:00、金曜日～20:00
(入館は閉館の30分前まで)
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)年末年始(12月28日～翌年1月4日)
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日と文化の日
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第12号

編集・発行 国立西洋美術館
/平成14年8月20日(年4回発行)
協力 (財) 西洋美術振興財団
印刷 (株) アイネット

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています